

2003年のPC関連意向調査 記録ニーズの高まりが顕著に

株式会社コンピュータ・ニュース社（本社：東京都文京区、代表取締役 奥田喜久男）の市場調査部門であるBCN総研は、PCの利用状況と2003年の意向に関するWebアンケートを行った。その結果、回答者の7割強が2003年にPCや周辺機器の購入意向を示しており、購入予定の製品としては「デジタルカメラ」と「記録型DVD」が上位にあがった。

また、PCの使い方では、デジタルカメラに関連した用途でPCユーザーの利用意向が高まっていることがわかった。ユーザーが扱うデータの種類の、画像、動画や音楽などと多様化し、ファイルサイズや数も増大している。今年は、「記録」に対するニーズが一層強まっていくものと予想される。

*BCN総研は、東名阪のパソコン大手販売会社16社（エイデン、大塚商会=αランド、グッドウィル、コンプ100満ボルト、コンプマート、さくらや、上新電機、ソフマップ、九十九電機、T・ZONE、デンコードー、ニノミヤ、ピーシーデポコーポレーション、ビックピーカン、ラオックス、ワンダーコーポレーション=50音順）729店舗（2002年10月01日現在）の日次販売データをデイリーで収集し配信するBCNランキングを公表しています。このデータをもとに、PCリテール市場の動向を分析したニュース配信を行っています（毎月第2、第4金曜日の発行となります）。

BCN総研がWeb上で行ったアンケート調査によると、2003年にPCおよび周辺機器の「購入予定がある」としたユーザーは、回答者全体の76.4%。製品カテゴリーでは、「デジタルカメラ」（20.9%）と「記録型DVD」（20.3%）の購入意向が同2割を超え、上位にあがった（図1）。「デジタルカメラ」は、PC利用歴が短い層で購入意向が高く（「3年未満」層で28.7%）、「記録型DVD」については、利用歴の長い層で購入意向が高い（「10年以上」層で29.7%）といった傾向がみられる（表1）。

なお、PCの利用状況と2003年の利用意欲を比較すると、デジタルカメラに関連した用途で、PCユーザーの利用意欲が高まっていることがわかった。「デジカメの画像の保存」、「デジカメの画像の加工」の利用意欲率が6割前後と高く、現状の利用率を上回っている（図2）。他にも、利用意欲率は半数に至らなかったものの、「音楽CDの編集・作成」、「DVD、音楽鑑賞」、「ホームページの作成・運用」、「動画の編集・加工」などマルチメディア関連の用途が、現状と比べポイントが大きく増加した。

デジタルカメラの普及に伴い、PCによる静止画の保存や編集が定着をみせ始め、さらにはマルチメディア関連の用途も浸透しつつある。ユーザーが扱うデータの種類の、画像、動画や音楽などと多様化し、ファイルサイズや数も増大しており、「記録」に対するニーズは今後一層強まっていくものと予想される。

【調査概要】調査期間：2002年12月18日～24日 調査方法：弊社ホームページ上（「WebBCN」）でのアンケート 有効回答：2,336件

【回答者のプロフィール】性別：男性 56.8% 女性 43.2%

年齢：20歳未満 0.9% 20～30歳未満 14.0% 30～40歳未満 39.3% 40～50歳未満 32.7% 50～60歳未満 9.6% 60歳以上 3.5%
（平均年齢39.0歳）

PC利用歴：3年未満 14.8% 3～5年未満 20.8% 5～10年未満 31.3% 10年以上 33.2%

* 本リリースについて、今後メールでの配信をご希望の方がいらっしゃれば、対応させていただきます。
赤島までご連絡下さい（akashima@bcn.co.jp）。

図1 2003年のPCおよび周辺機器の購入意向（全体）

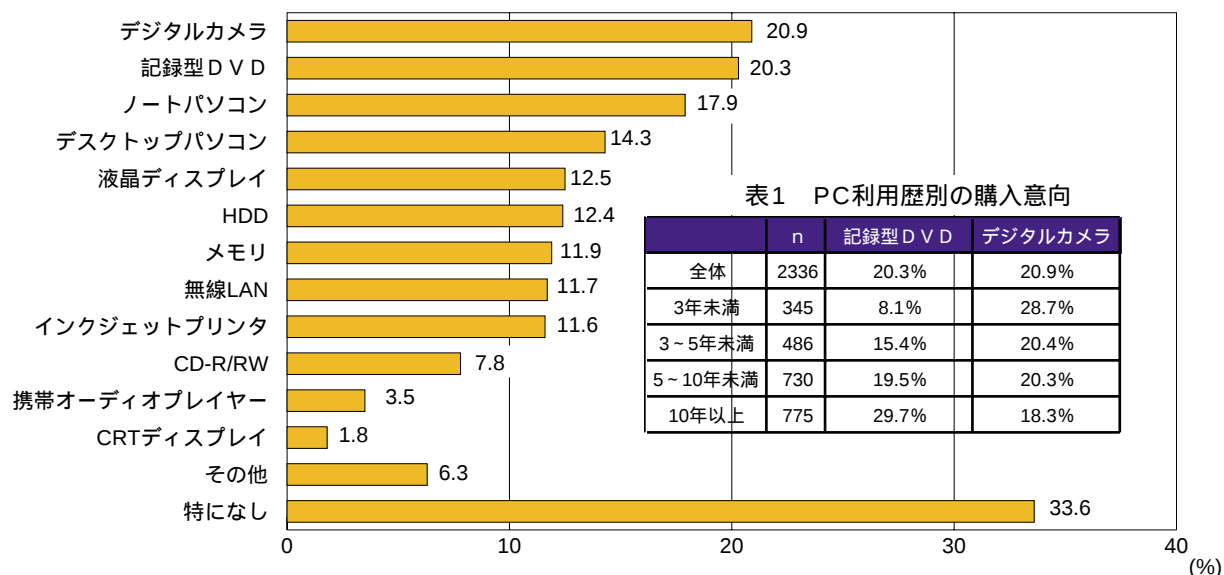


図2 PCの利用状況と2003年の利用意欲

